

まこと通信

社会民主党
田川市議会議員

vol.
4号



佐々木まこと後援会ニュース

佐々木まこと後援会事務所 〒826-0044 田川市大字位登876
TEL:0947-42-1866 FAX:0947-48-1501 mail:makt56@hotmail.com



中国の革命の拠点だった
西柏坡(せいはいくは)記念館にて

佐々木まことよりごあいさつ

初春の候、皆様お元気で新年をお迎えのことと存じます。また日頃より議員活動、後援会活動に対し、格別なるご理解、ご支援を賜りありがとうございます。

12月議会では、長年懸案事項だった船尾小学校の統廃合が可決成立するという結果になりました。また中学校給食については、希望弁当方式で行うことがほぼ確定的となり、来年度中に実施される予定です。

一般質問では、入札改革及び納税環境の整備について質問しました。特に入札改革は、不正を絶対に許さない体制の整備を市が行うことで、適正な競争が行われ企業の活性化が図られるとともに、入札制度に対する市民の不信を解消する意味でも、また財政再建の観点からも重要だと思っています。

まだまだ新人議員として不慣れな部分も多々ありますが、市民の感覚を忘れずに、そして若者が住み続けられる田川市にするために、今後も全力で取り組みます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

田川市議会議員 佐々木 まこと



後援会長のひとりごと

新年おめでとうございます。本年も宜しくお願いします。

昔、子どもの頃、冬の寒さの中での遊びの一つに「もがんことり」があった。厳しい冷え込みで、屋根の水が凍りつき軒先に氷のつららが下がる。大きいものは50センチもあったろうか、私たちは、人よりも大きいものを狙って、孟宗竹の先の穴に入れて折れないように、そつともぎとって、大きさを競ったものだ。そんなつらら（もがんこ）は今ではほとんど目にもすることもない。

世界の屋根と呼ばれるエベレストの下に点在する村々は、今エベレストの氷が解けて濁流となって襲うようになり、堤防づくりや、高台への引越しなど対策に追われているという。かつて旅したシルクロードのオアシスの村々は、遠く天山や崑崙（こんろん）の雪解け水を、地下水路（カレーズ）に面して育て、飲み水としているが、その生活に影響はないだろうか案じる今日この頃である。バリ島の温暖化対策、国際会議は、責任のなすりつけあいで、皆目先が見えない。この間にも、島が沈み、山がくずれているのに。

後援会長 大間 勝徳



古賀靖典よりごあいさつ

県議選で大変お世話になりました古賀靖典です。先日は、佐々木允後援会研修バスハイクにご一緒させていただきました。お陰様で楽しく勉強することができました。ありがとうございました。

さて、貴重なご紙面をお借りいたしまして、私の近況報告をさせていただきます。本当に月日が経つのは早いもので、もう新しい年を迎えました。

私は、皆様方からの力強いご支援を糧としながら、次期県議選に向けた活動を再開しました。特に、最近では衆議院選挙に立候補を予定しています。山口はるな氏の勝利をめざして、挨拶まわり等をさせていただいております。今後とも、変わらぬご指導ご支援を心からお願いしまして、近況報告とさせていただきます。

古賀 靖典

12月議会 一般質問



1 入札改革の取り組みと今後について

質問 最近も多くの談合事件が発生し、自治体も入札改革に積極的に取り組んでいる。この問題は本市もさけては通れないはずだ。

9月議会で私が入札改革について一般質問を行った際、建設経済部長は「条件付一般競争入札、公募型指名競争入札、輪番制・希望制併用型指名競争入札の3つの制度の導入について検討を進めている」、「就労事業の予定価格の公表についても検討していきたい」述べたが、現在までの進捗状況はどうなっているのか。また入札改革の方針を本市は作成しているが、その進捗状況についても答えてほしい。

答弁 (市長)第4次行政改革に基づき入札改革を抜本的に見直すことを計画している。

(建設経済部長)9月議会以降、入札制度の抜本的改革は議論している。しかし方向性が確定したものはない。入札制度改革については、具体的に条件付一般競争入札、公募型指名競争入札、輪番制・希望制併用型指名競争入札の3つの制度の詳細を作成中である。新たな入札制度については今年度中に決定し、来年度から試行的に導入したい。決定すべき事項が決まり次第、市議会に報告する予定である。入札改革室が作成した改革方針のうち、例えば現場説明会の廃止については、平成20年度の入札案件から実施していきたい。また等級格付けの公表等は11月より行っている。(なお就労事業の予定価格公表については答弁なし)。

再質問 ①市職員と業者との不適切な関係が問題となる事件が多発しているが、その防止策を本市はとっているのか②実施スケジュールには平成20年度より契約対策室を契約課にしているが、本当に行うのか③最低制限価格の公表については検討しているのか④格付け等級の見直しは具体的に決まっているのか⑤格付け等級が公表されているとあるが、ホームページで公表しないのか⑥改革方針で入札監視委員会について言及しているが、計画しているのか⑦就労事業の予定価格公表について答弁していないので、再質問する。

再答弁 (建設経済部長)①事業課職員は不適切な関係が心配されるが、本市は予定価格を公表しているため、そのような関係は心配がうすくなっている②他市も契約課になっているところが多く、課の名称変更を目指していきたい③本市についても最低制限価格の公表を検討している。現在最低制限価格を65%～85%の間で検討しているが、その率についても公表を検討している④制度上はランクから指名競争入札を決めているが、実務的には、それより多くの業者を入札に参加してもらっている⑤計画していない⑥計画していない⑦就労事業は就労者の対策を目的としているので、今後他の市と足並みをそろえて検討していきたい。

再々質問 ぜひ今年度中に入札改革の案を議会に示してほしい。また格付け等級の公表については、ホームページに公表しない理由はない。ホームページに公表することを望む。

現状は...

入札改革の大きな柱として田川市は①条件付一般競争入札②公募型指名競争入札③輪番制・希望制併用型指名競争入札を新たな入札方法として用いることにしています。この3つの制度について説明をいたします。

①条件付一般競争入札

田川市が入札の対象となる工事などを告知(公告)し、受注希望者を募って競争させ、最も低い価格で入札した業者と田川市が契約するものです。しかし入札にあたっては営業所の所在地(地域要件)や、過去の工事実績、手持工事状況などの条件を設定することで、入札参加に一定の「条件」を設定します。

②公募型指名競争入札

まず田川市が事前に行おうとする工事の概要やその工事の参加資格、そして技術資料の作成や提出方法について公示します。そして業者から提出された技術資料の審査を踏まえ、入札参加業者を田川市が指名する方式です。これも営業所の所在地(地域要件)などの条件を行うことがあります。

③順番制・工事希望制併用型指名競争入札

入札ランク内で順番により一定数を指名後、希望制により入札に参加希望の業者を募って指名業者を決定する指名競争入札制度のことです。これも地域要件や手持工事、配置予定技術者などの条件を設定する予定です。

この制度を執行部は来年度中には実施するとしており、具体的な中身は3月議会に報告される予定です。

また事前に入札参加業者が把握され、談合の原因として大きな問題になっている現場説明会の廃止についても、今年度中に廃止し来年度からは行わない方針を執行部は示しました。

私の質問を行った翌日には新聞各紙がこのことを取り上

2007年12月に行われた入札の全結果

土木課

①落札金額：3,276,000円	落札率：97.7%
②落札金額：2,919,000円	落札率：77.8%
③落札金額：2,128,612円	落札率：74.9%
④落札金額：1,905,750円	落札率：74.9%
⑤落札金額：3,637,200円	落札率：99.1%
⑥落札金額：8,641,500円	落札率：77.9%
⑦落札金額：2,432,850円	落札率：95.9%
⑧落札金額：1,995,000円	落札率：78.9%

平均落札率：84.6%

水道課

①落札金額：7,318,500円	落札率：95.8%
②落札金額：4,951,800円	落札率：98.2%
③落札金額：5,649,000円	落札率：96.7%
④落札金額：6,667,500円	落札率：96.4%

平均落札率：96.7%

建築住宅課

①落札金額：44,047,500円	落札率：94.8%
②落札金額：45,150,000円	落札率：94.8%
③落札金額：7,822,500円	落札率：95.4%
④落札金額：4,179,000円	落札率：97.5%
⑤落札金額：14,490,000円	落札率：93.7%
⑥落札金額：13,566,000円	落札率：96.5%
⑦落札金額：15,424,500円	落札率：96.7%
⑧落札金額：20,809,950円	落札率：97.7%
⑨落札金額：20,387,850円	落札率：96.9%
⑩落札金額：11,455,500円	落札率：96.9%
⑪落札金額：12,390,000円	落札率：93.6%
⑫落札金額：1,705,567円	落札率：84.9%

平均落札率：94.9%

全体の平均落札率：91.8%

2 納税環境の整備と今後について

質問 本市の平成18年度の国民健康保険税を除く市税徴収率は95.96%と、政令指定都市も含む福岡県内28市中28番目と最下位の数字である。過年度分もあわせると80.91%になり、これも県内最下位となっている。滞納額は平成19年11月30日現在、個人市民税1億4,896万7565円、法人市民税1,907万1,800円、固定資産税6億6,111万9,470円、軽自動車税2,054万3,600円、国民健康保険税4億3,502万4,607円、合計12億8,472万7,042円となっている。

収納強化も重要だが、いつでもどこでも納税できる環境づくりの構築も求められる。その点も踏まえ、市税のコンビニ支払いをぜひ導入してほしいと思うがどうか。また電子決済(ペイジー)についても、可能性について執行部の見解を求める。

現在飯塚市などが取り組んでいるものとして、市税の物納とその現金化に向けたインターネット公売がある。現在市税の物納を実施しているのか。またネット公売の実施を要望する。

答弁 (市長)納税環境の整備は行政の責務だと思う。今後慎重に検討していきたい。滞納者の不動産や動産の差し押さえは、状況を判断しながら慎重に取り組みたい。

(総務部長)コンビニ支払いについては筑豊8市税務研修会などで勉強している。またペイジーについて、福

岡電子自治体共同運営協議会ではペイジーの話は出ていない。ペイジーは今後研究していきたい。動産資産差し押さえは行っていない。動産差し押さえには様々な問題点もあるが、実施自治体で実績があるところを参考にネット公売を研究していきたい。

再質問 コンビニ支払いについては2回質問しているのだから、最低でも導入自治体の現状や本市が導入した際のシミュレーションを早急に見せてもらうことを望む。またネット公売についても同様だ。

再答弁 (総務部長)収納環境を整備するためには良い制度だと思うが、コンビニで収納する場合は1回約58円かかるとされている。今しばらく研究していきたい。ネット公売は、コンビニ収納より有効な手段だと思うので前向きに検討していきたい。

再々質問 若者は核家族化や単親家庭が増える中で、平日昼間に支払いできない。最低でもシミュレーションを具体的に示してほしい。ネット公売は初期投資も少ないので、その点もぜひ行ってほしい。また徴税強化だけではなく「必ず税金を払ってもらいます。しかしいつでもどこでも支払える環境を市は整備します」という姿勢を示すことが必要ではないかと思う。コンビニ収納についてもぜひ実現してもらいたい。

次のページの「現状は...」に続きます。3

現状は... 質問項目にあるように、田川市の納税率は県内の28市の中で最低となっており、納税率強化は大きな課題です。しかしただ徴税強化だけを図るだけで、納税環境の整備を行わないのは、市民の税金に対する信頼を損ねる結果になってしまいます。そのため前回と同様に市税4税のコンビニ支払いを求めました。また納税環境の整備で注目されているペイジーは、ネット上で税金の支払いができる制度で、国税では整備が進められていますが、地方税ではまだほとんどの自治体で行っていないのが現状です。

しかし、田川市は「田川情報センター」という施設があるなど、情報化政策を積極的に進める施策を推進してきた自治体です。前例がないから行わない、のではなく、納税環境の整備に向けて新しい取り組みをぜひ進めてほしいと思います。

インターネット公売は、すでに多くの市町村で行われている制度で、隣の飯塚市で行われており、大きな成果を挙げています。

私は市税をどうしても現金では支払えない市民の方々のために、市税の物納を行える環境を整えることも検討すべきであると思います。またその換価のための方法として、インターネット公売はこれから大いに注目されると思いますので、ぜひ実施に向けて動いてほしいと思っています。



12月補正予算の主な内容

事業内容	補正額	既定額	合計
平成19年度勤奨退職等が増加したことに伴う退職手当の増額分（11名）	2億6,593万円	2億4,613万円	5億1,206万円
平成19年度人事院給与勧告に基づき行われる、市職員の給与の増額分	1,225万円	37億9,567万円	38億793万円
税務課における臨時職員・嘱託職員の雇用期間増に伴う賃金・共済費の増額分	67万円	217万円	284万円
田川石炭記念公園内の二本煙突の修復にかかる費用の増額分	1,034万円	3,000万円	4,034万円
学校施設の維持管理を行っている学校技術員センターの自動車購入等にかかる費用	62万円	216万円	278万円
不登校及び不登校傾向の児童・生徒の学力を保証するために適応指導員を配置するための必要経費	1万7,000円	461万円	463万円
福岡県後期高齢者医療広域連合設立に伴い、新たに保険証を被保険者に発送するための経費等	284万円	0万円	284万円
年金業務の移管により、嘱託職員1名を任用するための経費	127万円	1,024万円	1,151万円
星美台団地1区画の契約解除による返還金	722万円	2,913万円	3,635万円
弱視の方に対応するための拡大読書機を市役所、市立病院、図書館に設置するための費用	100万円	0万円	100万円
道路台帳の補正業務に関する委託料や、道路損傷などの補修費用等にかかる経費	358万円	5,609万円	5,967万円

※千円以下を掲載していない項目は、合計すると1万円を超える場合もあるため、一部補正額と規定額の合計に差が出ています。

12月補正予算の合計は2億5,473万円
となっており、既定額とあわせると平成
19年度予算の合計は255億7,517万円に
なります。なお減額分も発生しています。

今回最も大きかったのは、職員の勧奨退職に伴う退職手当の増額です。今回の増額によってこれまで1億8,395万円あった職員退職手当積立基金が0円になってしまいました。来年度勧奨退職などが発生した場合は、新たに起債（借金）をしなければならないことになります。

平成19年度現在、田川市の一般会計における積立基金、益金運用基金の合計は108億2,446万円あります。しかしそのほとんどは使途が特定されている基金（例えば炭鉱住宅改良基金など）で、使途が明確ではない財政調整基金の合計は8億5,835万円しかありません。しかも今年度1億2,366万円使っており、今年度の一般会計の積立基金の取り崩し総額は9億5,193万円です。単純計算では11年で積立基金も底についてしまうことになります。

財政課が今議会で示した今後の財政見通しでは、平成22年度から田川市は赤字団体になるという結果が出されました。また昨年6月に成立した「自治体財政健全化法」に照らせば、田川市は数年のうちに、いわゆる財政のイエローカードである「早期健全化団体」に指定される可能性が高くなってきています。

早急に無駄をはぶくためにも、すべての事務事業について総点検を行うなど抜本的な取り組みが求められます。次の世代に借金を残さないためにも、今、我々が取り組まなくてはなりません。

1951年12月7日 第3種郵便物認可

田川市政の懸案事項 **ここ** が問題 **これ** を変えよう!

中学校給食、実施に向かって第一歩

中学校給食については長年の懸案事項であり、今まで公設センター方式の導入に向けた検討などを行ってきましたが、施設建設などの初期投資などに莫大な金額がかかるため、実施できないままになっています。

このことを受け教育委員会は、「田川市中学校給食実施協議会」を本年度発足、具体的な方法を検討することになり、学校給食方式とランチサービス方式の2つの方法が検討されました。

①学校給食方式

教育委員会が学校給食法のもと、民間事業者などに依頼し、弁当を提供する方式。現在福岡県内では春日市と宇美町で行われている。

**船尾小学校、09年度に統廃合へ
地元住民・保護者・児童無視の
決定に大きな怒り**

12月議会で船尾小学校の統廃合が賛成15名、反対6名で可決成立しました。我々社民党市議会議員団3名は、住民との議論をつくすべきだという立場から統廃合に反対としました。

この問題は、私が所属している総務文教委員会で審議してきたものです。私としても住民や保護者、児童とのコンセンサスをしっかり得るために慎重な議論を行い、統廃合ありきで考えてはいけないと訴えてきました。



12月25日に行われた地元説明会でも
地元住民からの厳しい意見が出されました

教育委員会の理由にも様々な問題が

総務文教委員会では教育委員会が掲げる統廃合の理由についても、様々な問題があると指摘しました。例えば「授業時間が学級の2分の1しかとれていない」というのも、既に現在の複式学級には加配教員がついており、実態に即していません。また「統合した場合、年間1600万円の経費の削減が見込まれる」というのも、小学校が統廃合された場合、地方交付税より838万5千円が減額されることになります。また仮に統廃合後、学校を社会教育施設等で維

その結果、早期の実施や財政面を考慮に入れランチサービス方式を実施するという結論になりました。しかし実施にあたっては、事業者の選定、配膳室の確保、注文方法などを具体的に検討する必要があり、来年度中に生徒数の多い学校を中心に数校に対して試行的に実施する方向で進められています。

共働き世帯の増加によってバランスの取れた食事がとれない中学生が増えている中で、多くの保護者、中学生が温かい食事を求めています。しかし実施に当たっては、地産池消、食育など多角的な面で検討をすべきですし、民間業者選定の際も、その点も評価するなどして、プレゼン方式で業者選定を行うなどの工夫も必要ではないかと思っています。

②ランチサービス方式

学校給食法に基づかない方法で、市独自の運営基準などを設けるなどして弁当給食方式と同様に、民間事業者などに依頼し弁当を提供する方式。福岡県内では大野城市、太宰府市で行われている。

持すると、光熱費等で相当のお金がかかることが予想されます。このことから統合による財政効果はほぼないと言えますし、このことはすでに田川郡であった小学校統廃合の事例からも実証済みです。

それでも強行された統廃合の決定

しかし、住民説明会を半年以上行わない中で、またしっかりとした検証も行わないまま統廃合の決定を強行しました。そしてその決定に関して一度も地元説明会を行うことなく、議会は可決してしまいました。その後に説明会を行っても、地元住民はどうすることもできないのですから、まさに住民無視の統廃合の決定であったのは明白です。またこれによって今後の船尾校区や地域住民の行政不信は計り知れないぐらい高くなると思います。

この学校統廃合は、今後も市内すべての学校が対象となります。このような住民無視の統廃合を今後も行わないためにも、しっかり訴えていく必要があります。また市民との協働、という言葉とは全く違った行政運営に大きな不信を感じざるを得ません。

今年度における船尾小学校統廃合に関する動き

5月24日	船尾校区地元説明会（最後の地元説明会） （空白の半年間）
11月9日	船尾小学校を09年に統廃合すると教育委員会が決定
11月19日	「船尾小学校の統廃合の反対に関する請願」総務文教委員会得不採択
12月5日	「船尾小学校の統廃合の反対に関する請願」本会議得不採択が決定
12月10日	船尾小学校の統廃合に関する条例改正案、議会に中途提案
12月12日	船尾小学校の統廃合に関する条例改正案、総務文教委員会 において賛成5反対2で可決
12月21日	船尾小学校の統廃合に関する条例改正案、本会議で可決成立

佐々木まことの西へ東へ！

佐々木まことの活動記

佐々木まこと後援会研修バスハイク(11月17日)

市議会議員当選後初めての行事である、佐々木まこと後援会主催の研修バスハイクを行いました。今回は「ホテルの生態を理解し、地元猪位金をたくさんのホテルが舞う地域にしよう」という目的で、後援会関係者25名が参加しました。研修先は山口県下関市豊浦町にある「豊田ホテルの里ミュージアム」。ホテルの詳しい生態を学ぶことができましたし、今後の活動にもこの勉強を生かしていきたいと思っています。



ホテルの生態に関する説明に熱心に聞き入る後援会の方々

社民党青年議員訪中団(11月22日～26日)



天安門広場



中国共産党中央対外連絡部の李軍2局局長と会談

中国共産主義青年団（共青团）の招待で、青年議員団6名と辻元清美衆議院議員、そして社民党本部職員の9名で訪中しました。共青团は14歳から28歳までが加入でき、現在中国全土に約7200万人が加入しているとのことでした。現国家主席の胡錦濤（こ・きんとう）氏も共青团出身者です。

中国では共青团本部の幹部や中国共産党中央対外連絡部局長などと意見交換。今後も社民党との相互交流を深めていくことを約束しました。

また日中戦争発端の地である盧溝橋や中国人民抗日戦争記念館などを見学。田川市にも中国の強制連行で炭鉱労働に従事したとの記述があり、田川も戦争とは無関係ではないことを再認識しました。

また北京から車で5時間程の場所にある工業都市の石家荘にも行き、その共青团のメンバーとも交流を深めました。

北京は、北京オリンピックを間近にしているため日本とは比べものにならないくらいの建設ラッシュでした。簡単に言えば福岡大丸のような建物を数百個建設している、という感じです。また若者も本当に多く、経済発展の勢いを肌で感じることができました。

またいろいろな人脈をつくれたことも大きな収穫でした。私達の住んでいる福岡県は「アジアの玄関口」として飛躍しようとしています。中国で出会った方々とともに、今後も日中友好に向けた取り組みを進めていきたいと思っています。



辻元清美女性青年委員長とともに

社民党第11回定期全国大会(12月22日～23日)

定期全国大会は2年に1回行われる大会で、東京・永田町の社民党全国連合のある社会文化会館で行われます。私は福岡県の代議員として参加しました。東京・永田町の社民党全国連合で行われました。今回の大会では青年代議員の積極的な発言が目立つ一方、80歳の現役女性市議も登壇するなど、世代を超えた議論が展開されました。

社民党はまだまだ厳しい状態が続いていますが、平和憲法をしっかりと21世紀にいかし、日本が平和の旗振り役としての役割を担うためにも、一生懸命頑張っていこうと思います。

ホームページ紹介



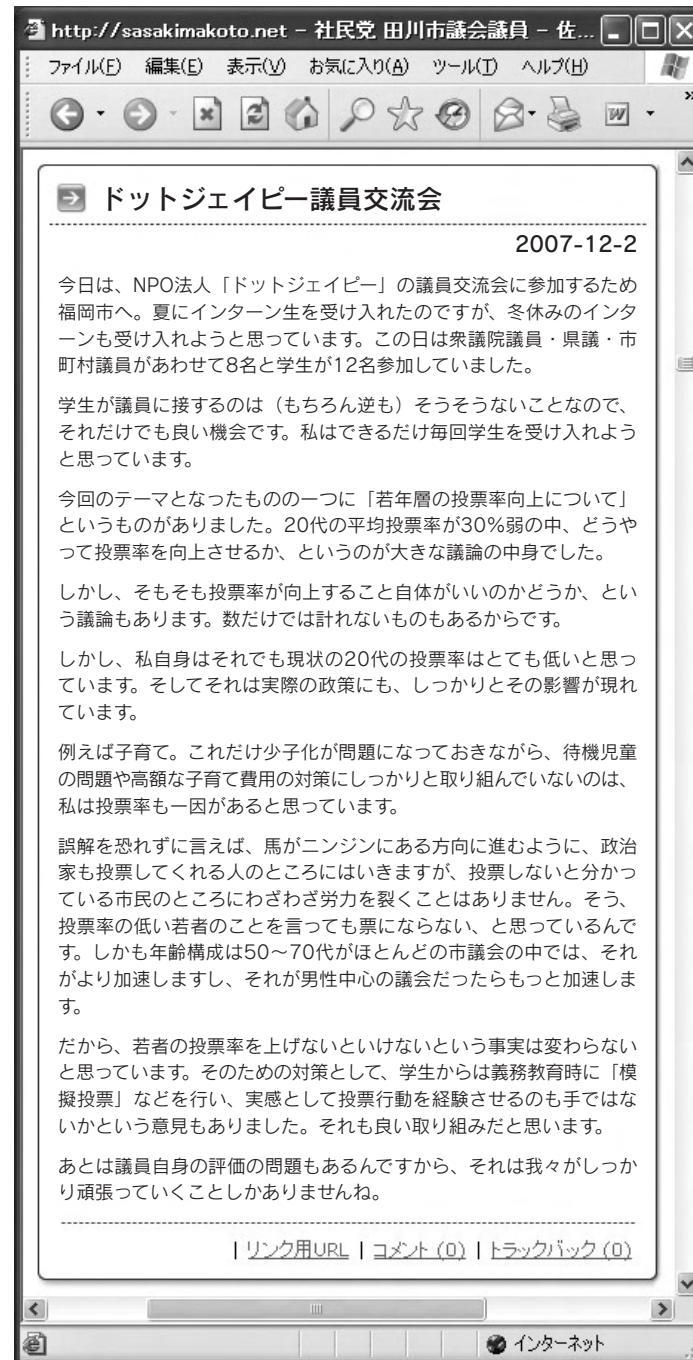
佐々木まことの日々の活動をつづるブログ

佐々木まことの日進月歩



「佐々木まこと」で検索してください。

http://sasakimakoto.net/



福岡11区 社民党は「山口はるな」を公認候補として擁立へ

社民党は次期衆院選福岡11区で看護師の山口はるな(31)を擁立することになりました。

山口さんは、国立療養所恵楓園付属看護学校の学生時代に、元ハンセン病患者の方々の劣悪な扱いから政治に目覚め、その後市民活動や平和運動に積極的に携わってきました。またその後病院勤務を通じて、医療現場の劣悪さも実体験で感じています。だからこそ、医療・福祉の問題に強い思いをもっていますし、また憲法を活かす政治をぜひ実現したいと意気込んでいます。



福岡11区は、人口集積地域が少なく、過疎地域が多いところです。だからこそ高齢化率も高く、医療・福祉の課題がとて多い地域です。また過疎地域の多い福岡11区だからこそ、私たち若者が住み続けられる地域にするために、当事者が声をあげることが重要です。

また、福岡11区は航空自衛隊築城基地を抱える地域でもあります。築城基地も沖縄の米軍再編の流れで米軍の訓練が実施され、地元住民からも反対運動が進められています。米軍NO!の声を福岡11区にあげていくためにも、社民党の議員が何としても必要だと思っています。

課題が多い地域だからこそ社会民主主義の理念を持った国会議員をぜひ誕生させたい。今は自民党2名の選択肢しかない中で、今の政治ではだめだという声を訴えていくために、山口はるなを中心に社民党は全力で闘っていきます。

山口はるな 略歴

- 1976年 6月北九州市にて生まれる
- 1992年 北九州市立高須中学校卒業
- 1995年 折尾女子学園(現 折尾愛真)高等学校衛生看護科卒業
- 1997年 菊池恵楓園附属看護学校卒業
- 日本医科大学付属千葉北総病院、川浪リハビリテーション病院にて看護師として勤務。この間、中村調理師専門学校を卒業し、調理師の経験もあり。一方、市民団体で平和・人権・労働・環境問題を中心に活動
- 現在 第一福祉大学通信教育学部社会福祉学科在籍中
- 福岡11区の問題を解決へ向け奔走中
- 田川市在住

＜山口はるなのホームページ＞
http://yamaguchiharuna.com
「山口はるな」で検索してください。

佐々木まことの主な活動報告

(22日より)

10月

- 22日 社民党県連会議 (福岡市)
- 23日 社民党田川総支部会議
- 24日 田川商工会議所青年部例会
- 25日 全国過疎問題シンポジウム2007 (朝倉市)
- 26日 全国過疎問題シンポジウム2007 (田川市)
- 社民党県連常任幹事会 (福岡市)

- 27日 山内和彦 (映画『選挙』主人公) 後援会 (北九州市)
- 29日 農業委員会研修旅行 (岐阜県)
- 30日 農業委員会研修旅行 (長野県・福井県)
- 31日 農業委員会研修旅行 (福井県)



11月

- 1日 社民党田川総支部首長・自治体議員団会議
社民党田川総支部合同会議
- 3日 コールマインフェスティバル参加
- 4日 コールマインフェスティバル参加
- 6日 連合京築・田川地域協議会大会
- 7日 田川商工会議所青年部総務委員会例会
- 8日 国鉄労働組合闘争団要請行動 (田川市)
- 9日 農業委員会総会
教育委員会定例会傍聴
総務文教委員会
社民党県連常任幹事会 (福岡市)
- 10日 猪位金中学校文化祭
「まこと通信」配布作業
- 11日 田川市消防団秋季練成大会
「まこと通信」配布作業
- 12日 ドットジェイピー打合せ (福岡市)
社民党県連会議 (福岡市)
「まこと通信」配布作業
- 13日 「まこと通信」配布作業
- 14日 国登録文化財「二本煙突」現地視察



- 15日 社民党田川総支部合同会議
- 17日 佐々木まこと後援会研修バスハイク
(山口県下関市)
- 19日 総務文教委員会
社民党関連自治体議員団九州ブロック会議総会
(佐賀市)
- 20日 社民党関連自治体議員団九州ブロック会議
(佐賀市)
- 21日 社民党青年議員訪中団前泊 (東京)
- 22日 社民党青年議員団訪中 (中華人民共和国)
- 23日 社民党青年議員団訪中 (中華人民共和国)
- 24日 社民党青年議員団訪中 (中華人民共和国)
- 25日 社民党青年議員団訪中 (中華人民共和国)
- 26日 社民党青年議員団訪中
(中華人民共和国)
- 27日 社民党田川総支部会議



12月

- 1日 労働政治懇談会セミナー (福岡市)
- 2日 田川市カルタ大会
ドットジェイピー議員交流会 (福岡市)
- 3日 後藤寺恵比寿大祭
社民党田川総支部会議
- 4日 福岡県庁陳情
- 5日 議会運営委員会
市議会本会議 (1日目)
農業委員会総会
- 6日 社民党田川総支部合同会議
社民党田川総支部首長・自治体議員団会議
- 7日 社民党県連常任幹事会
- 8日 田川映画愛好会
- 9日 社民党11区支部連合大会 (行橋市)
- 10日 市議会本会議 (2日目)
- 11日 市議会本会議 (3日目)
- 12日 総務文教委員会
- 15日 社会福祉法人猪位金福祉会10周年記念式典

- 16日 11区予定候補「山口はるな」街頭演説
- 18日 久井誠子クリスマスコンサート (田川市立美術館)
- 19日 社民党県連常任幹事会
第1回船尾小学校の意味を考える会
- 20日 社民党田川総支部合同会議
社民党田川総支部首長・自治体議員団会議
- 21日 議会運営委員会
市議会本会議 (4日目)
社民党第11回定期全国大会参加のため上京
- 22日 社民党第11回定期全国大会 (東京)
- 23日 社民党第11回定期全国大会 (東京)
- 25日 船尾小学校統合に関する地元説明会
- 28日 社民党田川総支部会議



この『まこと通信』は私の活動や田川市政に対する懸案事項を掲載することで、市議会議員や議会、そして政治を身近に感じてもらいたいという思いで、定例議会後毎に発行しているものです。

市議会議員がどのような活動をしているのか、田川市が今どのような問題を抱えているのか、などをこの紙面でご理解いただければと思います。また「まこと通信」に関するご質問・ご意見・ご感想もお気軽にお寄せください。

市民相談・無料法律相談 受け付けています。

市民相談、労働相談など各種相談をいつでも受け付けています。また月1回、弁護士による無料法律相談も行っていますので、お気軽に電話、メールでお問い合わせください。

連絡先 0947-42-1866
mail:makt56@hotmail.com

社会新報

号外

社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1 電話 代表03(3580)1171・振替00140-1-3203
●定価180円 ●1ヶ月700円 ●送料160円